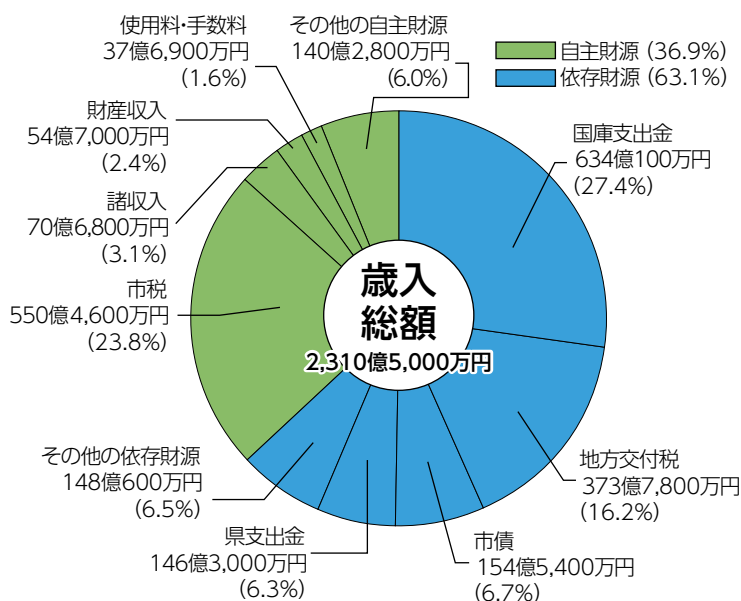


# 2,310億5,000万円

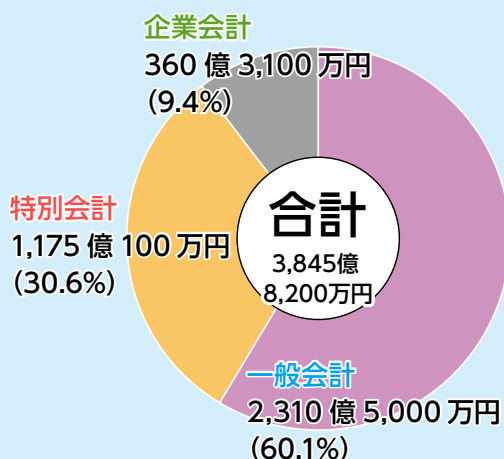
## 歳入

長崎市の一年間での全収入



市が自ら確保できる市税などの自主財源が36.9%、残り63.1%は国・県からの補助金や地方交付税、市債（市の借金）などで賄われます。

※金額は10万円単位で端数調整をしているため、合計が一致しない場合があります



# 選ばれるまちを目指して

特集 令和6年度当初予算と3つの重点プロジェクト

長崎市の人口は減少傾向にあり、今後も少子化・高齢化が進行することが予想されています。人口減少を食い止めるため、特に「経済再生」と「少子化対策」の分野に重点的に取り組みます。さらに、これらの基礎となる時代の変化に対応した市役所運営を行っていくための「新

市役所創造」にも取り組みます。これらの取り組みを重点プロジェクトに位置付けて予算の重点配分を行うとともに、市民のみなさんの暮らしにつながる事業にもしっかりと予算を配分しました。まずは、令和6年度の予算を紹介します。

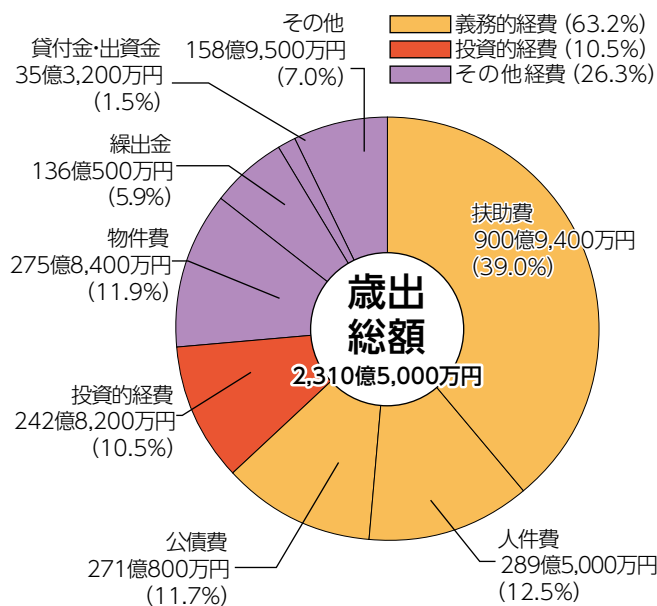
財政課  
☎ 829・1126



# 一般会計総額

## 歳出

長崎市の一年間での全支出



扶助費(福祉関係の経費)や人件費、公債費(借金返済)などの経費が全体の63.2%を占めています。学校・道路・ごみ焼却施設の整備などの経費は10.5%です。

歳出を目的別に見てみよう!



子ども・高齢者・障害者支援、被爆者援護など

1,142億8,100万円 (49.5%)



選挙や戸籍、徴税、財産の管理、文化振興など

235億1,300万円 (10.2%)



学校教育、スポーツ振興など

165億1,000万円 (7.1%)



消防、商工業や農林水産業の振興など

129億100万円 (5.6%)



市債返済など

271億800万円 (11.7%)



道路・公園・住宅などの整備や管理

208億8,200万円 (9.0%)



感染症対策、健康増進、環境保全など

158億5,500万円 (6.9%)

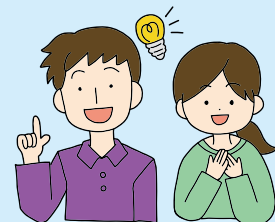
## 特別会計と企業会計

### 特別会計

一般会計のほかに、特定の収入(保険料や使用料など)で、その事業の支出を賄う会計です。

### 企業会計

それぞれの事業の収益(使用料など)で支出を賄う独立採算が原則の会計です。



次のページでは3つの重点プロジェクトを紹介するよ!



# 3つの重点プロジェクト

都市経営室 ☎829-1111

「経済再生」・「少子化対策」・「新市役所創造」の3つの重点プロジェクトを進めるために、さまざまな所属・職種・年齢の職員を集めたプロジェクトチームを昨年8月に作り、協議を重ねています。

また、新たに設置した5人の政策顧問と連携してアクションプラン(実行計画)を策定しました。今年度は、このアクションプランに沿った取り組みを行っていきます。



詳しくはこちら

## 経済再生プロジェクト

長崎に住む皆さんの生活がもっと豊かになったり、長崎を訪れるかたがもっと満足したりする取り組みをオール長崎で進めます。

## 少子化対策プロジェクト

独身期から妊娠出産期、そして子どもが生まれてからの子育て期。各ライフステージに合わせて、きめ細やかにサポートします。



## 道路を走る 車の両輪のように

「経済再生」で地域の稼ぐ力を高め、所得を増やし、消費を拡大することで経済が活性化します。すると、新たな雇用が生まれて生活基盤が安定します。同時に「少子化対策」を進めることで結婚への不安が解消され、婚姻率・出生率が上昇して子どもの数が増えます。

このように2つのプロジェクトは車の両輪のように相互に働いて好循環をもたらします。

このプロジェクトを土台として支えるのが「新市役所創造」です。皆さんがさらに住みやすく、活気あふれた長崎を目指します。

## 新市役所創造プロジェクト

経済再生プロジェクトと少子化対策プロジェクトの土台となる新市役所創造プロジェクト。

この2つのプロジェクトを進めやすくするために、市役所を担うひとづくりや時代にあった市役所経営を推進します。

もっと!

# 経済再生

## まちが豊かに活気づく

他の地域との競争に勝てるように、持続可能で力強い経済へと再生させるため「稼ぐ」・「人材」という2つの視点に重点を置き、「交流拡大」・「地場産業支援」・「新たな産業の創出」の3つの分野を軸に取り組みを進めます。

交流拡大

### 人を呼び込む

#### 訪問客を増やします



英語に対応できるガイドの育成や多言語案内の充実、食のニーズへの対応、長崎スタジアムシティの開業気運醸成などに取り組みます。

#### 訪問客の満足度を高めます



長崎ならではの宿泊、飲食、体験などの魅力あるメニューを作り出したり、魚のPRを強化したりして、訪問客の消費拡大につなげます。

#### 長崎をPRします



欧米豪や東アジアに向けたセールスを展開し、外国人観光客や国際会議などを呼び込みます。

地場産業支援

### 企業などを応援

#### 商店街を盛り上げます



店舗の魅力向上や空き店舗を改装した出店を支援し、地域のにぎわいをつくり、商店街への集客につなげます。

#### 人材の確保を支援します



奨学金の返還支援などによる、若者の地元就職・定着や、外国人材の受け入れ、潜在労働者の支援などに、多様な人材の活躍を促します。

#### 水産業・農業を支援します



新規参入者の育成やデジタル技術の普及、自然災害対策などを進めます。

新たな産業の創出

### 新たな産業を作る

#### 起業を支援します



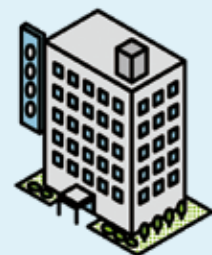
事業を新しくつくりたり、広げようとする人や企業の取り組みを後押しします。

#### 成長産業を育てます



デジタル、環境、海洋・ものづくりなどの、今後成長が見込まれる分野に関連する地元企業の育成や企業誘致を行います。

#### 雇用機会を増やします



事業用地の確保など、新たな企業を呼び込むための環境を整備します。



# 少子化対策

## 子育てしやすいまちになる

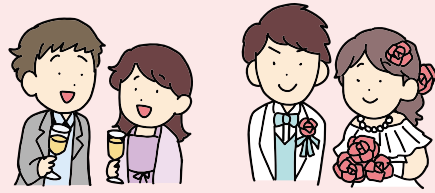
「結婚したい、子どもを産みたい、育てたい」という市内の若い世代の希望が叶えられ、子どもたちが笑顔で健やかに育っていける環境をつくるため、「長崎市で子どもを持つ希望を叶える」・「長崎市を選んでもらう、住んでもらう」の2つを重点テーマとして取り組みを進めます。

### 負担や不安を軽減



保育所などを同時利用する第2子以降の保育料無償化や、乳児期の家事代行サービス利用を助成します。また、「こども家庭センター(市役所2階)」を設置し、不安を抱えている家庭に寄り添った支援などを行います。

### 交際・結婚を後押し



交際や結婚に一步踏み出せないかた向けのセミナーや、出会いの場となるイベントを開催します。また、イベントに参加したかたが、交際や結婚の不安や悩みを相談できる環境を整えます。

### 子育て期(子ども時代)

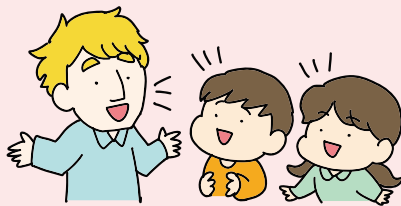
### 妊娠・出産期

### 独身・結婚期

義務教育期

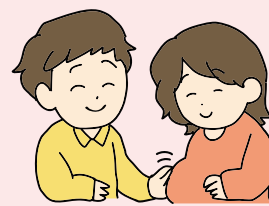
乳幼児期

### 市ならではの教育を充実



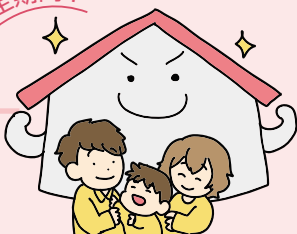
AI型教材で一人ひとりに適した学びの提供や本市に愛着を持ち未来を担う人材の育成、英語力、国際理解力の向上に取り組みます。さらに、それぞれの不登校児童生徒に合わせた多様な学びの機会などを提供します。

### ママに寄り添います



面談や相談を行い、妊娠期から出産後の不調や不安の軽減に取り組みます。また、産後に安心して休息を取れるよう、産後ケアをさらに充実させて、出産後の生活に寄り添った取り組みを進めます。

全期間!



### 住まいの支援

若い世代・子育て世帯が希望する住宅を選択しやすい環境を整えます。また、市民や企業などと協力・連携し、若い世代・子育て世帯の住まいに関する環境の改善に取り組みます。

# 新市役所創造

もっと!

## まちづくりを支える市役所へ

時代の変化に対応した持続可能な経営を行う市役所に転換するため、「市役所を担うひとづくり」・「時代にあった市役所経営」の2つの重点テーマを掲げました。市役所の資源「ヒト(職員)、モノ(行政サービス・財産)、カネ(財政)、情報(ノウハウ・データ・つながり)」を有効活用し、さまざまな方面から取り組みを進めます。

### 市役所を担うひとづくり



#### 市職員採用の見直し

職員採用試験の受験要件の見直しを行うなど、民間企業経験者をはじめとした中堅職員の積極的な採用を行います。

#### 職場環境を整備

働きやすく、働きがいのある職場づくりやデジタル化で業務の効率化を行い、皆さんにさらに寄り添った行政サービスを提供します。

### 時代にあった市役所経営

サービス



#### デジタル技術の活用

窓口やオンラインで公金支払のキャッシュレス決済ができる環境を広げるなど、デジタル技術を活用し、利便性を高めます。

財政



#### 新たな収入の確保

ふるさと納税の観光商品などの返礼品を拡充するなど、長崎のまちの魅力を発信して市の収入を増やします。

情報



#### 分かりやすい情報発信

皆さんへ市の政策や情報を正確に分かりやすく届けるために、市ホームページや市公式LINEをリニューアルします。

### 環境と経済の両立



稲佐山からの夜景を構成する観光施設や居留地エリアを省エネ化し、再生可能エネルギーへ転換することで、持続可能な選ばれる国際観光都市を目指します。

### 地域のまちづくり



昨年度に引き続き、市長が市内各地で地域の方々と意見交換をする「シンナガサキミーティング」で、地域の状況や課題を直接把握します。